

コロナから命・暮らしを守る

日本共産党戸田市議団議会報告
(2021年9月・12月議会)



本田 哲



むとう 葉子



花井 伸子

「2022年度予算・市政運営への要望書」 菅原市長へ提出



左より 花井市議、むとう市議、菅原市長、本田市議 (2021年10月5日)

要望書は市民要望を精査するとともに、各種団体のみなさんと懇談するなどして作成しました。令和4年(2022年)度もコロナから市民のくらし・営業を守る予算編成となるよう、全体304項目からなる要望を提出しました。※要望書全文は、市議団ホームページからご覧いただけます。

- 新型コロナウイルス対策
- 田辺三菱製薬跡地に建設予定の大型物流施設への市指導の継続を
- 国民健康保険税・介護保険料の引き下げ
- 子ども医療費通院費を高校卒業まで無料に
- 災害対策の強化
- 地球温暖化対策推進計画の責任ある実践
- トコバスの両周り運行を など

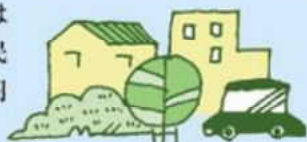
日本共産党戸田市議団は市政を厳しくチェックしています 税金のムダづかいはないか? 市民要望にしっかりと活かされているか?

令和2年(2020年)度一般会計決算に反対

コロナ禍でも市民税2億円の増収

令和2年(2020年)度は、新型コロナウイルスという未曾有の災害に見舞われ、市政もその対応に追われた1年でした。3月の一斉休校に始まり、緊急事態宣言、酒類の提供禁止、時短営業、出勤者7割減、テレワーク。市の様々なイベントも中止、延期となるなど市民の健康、命とくらし、営業など窮地に追い込まれるなど誰もが大変な年でした。

そんな中、市税収入は人口増等による勤労市民の増加で前年より約2億円も増えました。



40億円を使い残し、22億円もため込む

財政力指数は1.252 埼玉県1位
*実質収支比率13.1%

※(実質収支比率は財政の収支を見るための代表的な指標です。一般的に3~5%が適正な範囲と言われています)

適正範囲をはるかに超えており、使い残した市民の税金40億円の内、22億円を公共施設整備等基金へ積み立て、財政調整基金、土地開発基金、防災減災基金を合わせて137億6000万円となりました。県下1の豊かな財政をもっと市民のために活かすことができたはずです。「貯めすぎ」を指摘し決算に反対しました。(9月議会)

国民健康保険税引き上げ

国の地方自治への介入・横暴許せない!

国民健康保険は、平成30年度4月より広域化となりました。国から一般会計への繰り入れをなくすよう指導され、どんどんと保険料が引き上がってきました。

2年連続で11,800円もアップ! 「繰り入れ続け国保税引き下げを」

今回さらに、戸田市は均等割額を2年間かけて一人11,800円値上

日本共産党だけが反対

げすることを決めました。子どもに均等割を課すこと自体、他の健康保険との均衡が図れていません。国は一般会計からの繰り入れを「赤字」といいますが、他の健康保険の保険料は保険者と被保険者が半々で負担しています。一般会計からの繰り入れは赤字ではなく戸田市が保険者として負担すべき支出であり納得できません。

全国市長会は、国庫負担を増やせとの意見を出しており、戸田市も国・県へ財政支援を求めています。誰もが安心して医療を受けられる国民皆保険を守るというなら、国庫負担を増やすこと、市の繰り入れを続け国保税を引き下げを求め、反対しました。(12月議会)



一般質問 みなさんの声をとどけました。



本田 哲

■「白田の湯」廃止の条例改定に反対
 党市議団を代表し、「白田の湯」の存続を求め、9月議会で提案された「白田の湯」廃止の条例改定に反対しました。

反対討論では、①「白田の湯」存続を求め、2380筆の署名が市長に提出され、パブリックコメントも存続の声が多数であり、多くの市民が存続を求めている ②年間1万人が利用し満足度も90% ③約1億円の運営経費は、「戸田市民並びに市内に勤務する者の保健、保養及び教養に資する」とする目的に沿った必要な支出 ④大規模改修は財政負担を考え令和8年度に予定していることを訴え、「白田の湯」存続を求めました。

しかし、共産党以外のすべての議員が「廃止」に賛成し、「白田の湯」は、2022年3月31日をもって閉館となります。

長年、多くの市民に利用され親しまれてきた「白田の湯」。運営面でも財政面でも「廃止」にしない理由が見当たりません。市は、存続を求める市民の声にしっかりと応えるべきであったと思います。



むとう葉子

■GIGAスクール構想について
 一人一台のパソコン端末が整備されました。健康被害を注視し、SNSの使い方等、情報モラル教育の徹底を

■学校給食の無償化を
 「教育の無償化」は憲法26条に記されており、安心して子育てができるよう恒久的な支援を

■夕焼けチャイムの時間変更は
 小学生が6時間授業で帰宅すると、夕焼けチャイムが鳴り、外遊びが出来ない時期があります。様々な意見を聞き、見直しを含めて検討を

■障害福祉サービスの充実を
 新型コロナの感染不安から、引きこもりがちな精神障害者へも福祉タクシー券の発行を。また障害者の生活を支えている事業所の課題を把握し、課題解決に向けての相談支援を

■敬老祝品に使われている戸田市共通商品券の改善を
 商品券を扱う店舗が換金する際に掛かる手数料2%は、市が負担するべき。また使用できる店舗を増やし、今後も敬老祝品に1000円分の上乗せを

■公園に健康遊具の設置を



花井伸子

■多くの市民要望実る
 コロナから市民のみなさんの命とくらし・営業を守るために、●PCR検査の拡充、●小規模事業者等への給付金の追加支援、●全市民へ平等に支援が届き、市内商店の営業支援につながる商品券での支援、●医療的ケアを必要とする子ども達も保育園や学校に通うことができ、成人に至るまでの切れ目ない公的支援の充実、●1歳児保育の空き室不足の解消、●保育士不足解消のための宿舎借り上げ支援事業の継続、●不意の事態に対応できるよう、小中学校のトイレに生理用品を常備設置すること、など取り上げました。

こうした中で、昨年は敬老祝品(商品券)へ1000円が追加され3000円に、全市民へ5000円の商品券が支給されました。また、医療的ケア児が保育園に入所できるように準備が進められています。学校トイレへの生理用品設置など、コロナは大変でしたが、多くの市民要望が実った年となりました。



賛成

令和3年(2021年)度 戸田市一般会計補正予算

年度途中の余剰金8億6400万円を新型コロナ・水害対策に活かす

令和3年度は当初予算において、新型コロナウイルスの影響で大幅な減収を見込んでいましたが、8億円を超える増収となりました。これまでは、こうした年度途中の増収のほとんどが基金に貯め込まれていました。しかし、今回、市民一人当たり5000円の「地域く

らし応援券支給事業」に8億2400万円、さくら川護岸嵩上げ整備に4000万円増額し、早瀬橋から下町橋区間の整備を加速させるなど、新型コロナ対策、水害対策に活かされました。市民のみなさんの声に応えたものと評価し補正予算に賛成しました。(12月議会)

日本共産党の要望実現しました



地域くらし応援券
5000円支給



ペイペイポイント還元
30%



全小中学校の屋内運動場
空調設備設置へ



全小中学校のトイレに設置
された生理用品

2022年も市民のみなさんの願い実現に全力で頑張ります。ご意見・ご要望をお寄せください。

